

米こめ大作戦通信

第3号

(8月号)

周南市大田原自然の家

残暑お見舞い申し上げます

毎日本当に暑いですね。皆さんお元気でしょうか。暦の上では「秋」ですが、まだまだ猛暑、酷暑は続きそうです。子ども達は長かった夏休みも終わり、いろんな思い出を胸に新学期を迎えることと思います。

さて、みなさんと植えた稲も出穂し、どんどん実も膨らんでいます。2本だった株も多いところでは20本近くに増えて見違えるようになっていきますよ。でも、取りきれなかった草が・・・。次回までに時間があります。一度、様子を見に来てください。



大きな株



夜には電気が流れます

最近の田んぼの様子です



ヒエの穂



しつこいコナギ

随分と株もふえました。8月初めより穂も出始めています。でも、この穂を狙ってイノシシが出てきます。今、予防で田んぼの周りに電気柵を張っています。

みなさんも頑張って草取りをしましたが、雑草はそれ以上の勢いです。稲にまぎれてヒエが背伸びしています。

3回目 7月17日の様子です

今年の梅雨も各地で豪雨被害を出し、大田原への道路のことも気になる毎日でした。お天気になることを祈る3回目(7月17日)でしたが、ギリギリ梅雨明けとなり夏空の下で活動することができました。

今回は昔ながらの手作業をテーマに活動しました。田んぼでは草取りやカマを使って畦(あぜ)草刈の作業を体験。薪でお湯を沸かしてかしわ餅作りにも挑戦しました。川遊びはこの時期ならではでしたね。



まずは田んぼの草取りをしました。子ども達もお手伝い。草は前回とったつもりでもやっぱり残っていましたね。



カヤで手を切った人も

田んぼのアゼ草刈の体験をしました。今はほとんど機械で刈りますが、昔ながらに鎌を使いました。カヤで痛い思いもしましたね。



お昼までに湯沸しをしておこう

おやつに「かしわ餅」作りをしました。まずはお父さんが薪を割って…。子ども達が火の番をしました。子どもは火遊びが好きですね。

昼食はソーメン流しでした



子ども達も沢山たべましたね。

かしわ餅作り



かしわ餅はお米の粉で作ります。包んでいる葉は近くでとった「サルトリイバラ」・燃料の薪も自給です。

ちょっぴり昔ながらの生活体験をした一日でした。少し前までの暮らしは機械を使わずほとんど手作業でした。昔の人は「すごい」と感じる人が多いです。食べることや生活の全てが身の回りで採れるもので賄っていました。お金をかけずに生活できるこんな智慧や技は大事にしたいものです。今年のような猛暑も川に行けばエアコン不要ですね。

川遊び



涼しくて気持ち良かったですね



激流?でもへっちゃら



川でカニを見つけたよ

鳥獣被害のこと 最近、農家の人と話をする「イノシシ」にやられた。「サル」にとられた。「カラス」が居ついている。という鳥獣被害のことをよく耳にします。

人によれば「山に杉やヒノキなど実をつけない針葉樹を植えたからだ」と言う説と「田んぼや畑には若い人の姿がなくお年寄りばかりで恐れなくなった」また「昔は田んぼや畑の周りの斜面は草を刈って肥料にしていたが、今はそんなことを誰もしないので畑の隣がすぐに山になってしまったから」などの話を聞きます。どれが正しいかは分かりませんが、いずれにしても人との関わり方にあるようです。

今、大田原地区はサル追いのための爆竹の音、カラス追いのためのガス爆音器の音、夕方からはイノシシの威嚇用にフラッシュライトが一晩中賑やかに点滅しています。もちろん田んぼの周りには高圧の電気柵が張り巡らされています。獣たちが退散するか、人が根負けするかのかげ引きが続いています。

みんなさんの声から

午前中の草取りは大変だったけど昼食のソーメン流しや昼からの川あそびはとても充実して良かったです。

田んぼの草取りは大変ですが楽しかったです。魚きりの滝がとても良かったです。そうめん流しは楽しかったのですが、もう一品ほしいかな。

どの行事もとても楽しかったです。川は急流で少し怖かったけれどとても良い経験でした。また、家族で行ってみたいと思います。

色々考えて下さってありがとうございます。いつもとても楽しいです。



田仕事の大変さや自然の中での遊びの楽しさ等色々なことを感じさせて頂きよかったですと思います。同じ市内に住みながら知らなかった魚切の滝なども知ることができ、有意義でした。次回以降も家族全員楽しみにしています。

普段はバタバタと毎日を過ごしている中、のんびりと過ごせて良かったです。お米作りは大変ですが、最後まで楽しく参加していきたいと思います。